

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【A L Lとやま農林水産業の成長産業化プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県ほか5自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	963,304千円 (214,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	富山らしい特色のある地域資源をフル活用しながら国内外市場での魅力を高め、雇用の拡大と収入の確保につなげることで、持続可能な農林水産業の発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●マーケティング戦略の推進 ・食材利用の事例紹介や商品紹介ページのクオリティ向上指導等 委託料9,600千円、補助金2,000千円 ほか ●国内市場における販路拡大・成長産業化の推進 ・高校生のスマート農業を体験できる集合研修・ファームステイ型の実践研修、就農体験セミナーのオンライン配信等 補助金6,350千円 ほか ●海外市場における販路拡大・成長産業化の推進 ・海外向け商品開発、販路開拓、市場調査等 36,550千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+48億円） ②県産代表6魚種及び栽培漁業対象種の産出額（税抜）（+15.8億円） ③輸出に取り組む事業者数（+19者） ④県産材素材生産量（+39,000千m ³ ）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、氷見市、砺波市、黒部市、南砺市、入善町の広域連携事業

事業概要【とやま未来創生チャレンジ人材育成事業】

推進当初

申請者	富山県、高岡市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	607,290千円（180,753千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	若者から高齢者まで誰もが何歳からでも、何度でも学び直し、能力を高め、スキルアップやキャリアチェンジ、起業など様々なステージで長く活躍できる人材を育成し、新たな時代の人材戦略を進める企業の外部競争力を高める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●誰もが何歳からでも、何度でも学び直し、能力を高める機会と環境づくり ・多様な人材の学び直しによるスキルアップを支援。県内企業に対する講座やセミナーを実施 18,600千円ほか ●子どもや若者がふるさとを拠りどころにしながら、地域や国際社会に貢献・チャレンジするグローバル人材等の育成 ・海外大学等での短期研修や学習者用デジタル教科書の活用等による高校生の国際的素養の育成 11,690千円 ほか ●学力（認知能力）だけでなく、非認知能力（探究力、課題解決能力等）やICTリテラシーなど、新たな時代に求められる能力を持つ人材の育成 ・探究活動に必要な情報収集や分析等を学ぶ講座を実施。STEAM教育の普及、郷土資料のデジタル化等 30,621千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①リカレント教育（学び直し）に取り組む県内社会人の割合（+18.25%） ②県内大学・短大入学者の県内比率（+10.5%） ③困難な課題に果敢に挑戦する県内小学生の割合（+17.25%） ④地域社会で活動する高齢者等の活動件数（とやまシニアタレントバンク登録者・登録グループの活動件数）（+250件）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

事業概要【持続可能な中山間地域振興プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県、南砺市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	321,925千円（87,256千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県、市町村、県民、事業者等が相互に連携を図りながら協働し、中山間地域の住民が自発的に地域の課題解決に取り組み、地域全体で稼ぐ手法を身に付け、自立していく「持続可能な地域社会」の形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 地域コミュニティの再生 ・「集落支援専門員」を配置 事務費 7,450千円（ほか） ● 外部人材の活用 ・OBOGネットワークによる協力隊向け研修の実施や相談窓口の設置等 委託料3,900千円（ほか） ● 地域経済の活性化 ・まちづくり計画に沿った試行的な活動等に対する補助 補助金9,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中山間地域における地域運営組織数（+10組織） ②県・市町村相談窓口等を通じた移住者数（+295人） ③中山間地域におけるアクションプラン策定地域数（+40地域）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

事業概要【「立山黒部」世界ブランド化推進事業】

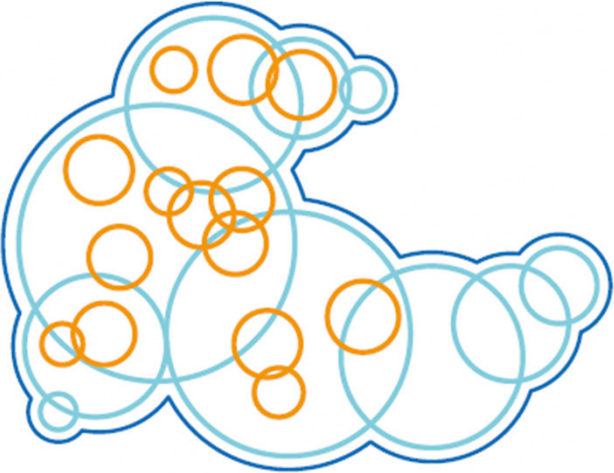
推進当初

申請者	富山県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 2 年度第 1 回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,058,439千円 (212,137千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	立山エリアと黒部エリアが結ばれることで、世界的山岳景観を誇る立山黒部アルペンルートと日本一のV字峡である黒部峡谷を周遊し、美しく雄大な自然に触れることができる世界水準の「滞在型・体験型」の山岳観光地として世界ブランド化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 2024年の黒部宇奈月キャニオンルートの旅行商品化 ・全国的なPRイベント等 負担金 7,170千円、委託料2,200千円 ほか ● 立山黒部エリアの周遊性向上、魅力向上 ・観光地を周遊する滞在型・体験型コンテンツの造成支援 負担金 22,000千円、委託料3,000千円 ほか ● 「立山黒部」周辺エリアの歴史、文化、自然、産業、防災など多彩な魅力の発掘と磨き上げによる「体験型・滞在型」観光コンテンツの充実 ・立山砂防の普遍的価値の情報発信 委託料2,072千円、負担金 4,790千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①立山黒部アルペンルートの観光入込数 (+132千人) ②黒部宇奈月キャニオンルートの旅行者数(+8,000人) ③オンライン登山届コンパスの利用者数 (+5,868人) ④旅行者の満足度 (+5.6%)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、魚津市、黒部市、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【富山市スマートシティ推進事業】

推進当初

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	359,870千円 (86,916千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・IoT技術等の未来技術の活用や地域における官民データの共有化を促進することで、Society5.0における市民協働のまちづくり及び災害発生時において迅速な対応が可能な体制が整備された安全・安心なまちづくりを目指す。 ・産学民官の情報を相互に提供しあう環境を提供することにより、開かれたまちづくりを進め、さらに、ICT等の新技術を活用し、市民生活の質や利便性の向上を図る富山市版のスマートシティを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 富山市センサーネットワーク保守・運用支援事業 ・IoTプラットフォーム運用保守 (委託料) 18,520千円 ・富山市センサーネットワーク利活用事業運営支援 (委託料) 3,166千円 ・ネットワーク網維持管理費 (電気料、修繕料、通信運搬費、委託料) 2,000千円 2 富山市ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質向上事業 ・企画管理運営支援 (委託料) 1,898千円 ・システム・ソフトウェア維持管理 (委託料) 10,208千円 3 富山市オープンデータサイト運用保守 (委託料) 462千円 4 IoT技術を活用した新たな災害対応力の獲得並びに公共インフラ監視事業 ・クラウド型地下道・水門監視システム (通信運搬費、委託料) 9,554千円 ・富山市除雪情報システムGPS端末更新 (通信運搬費、手数料、委託料) 12,028千円 ・道路維持管理支援システム運用事業 (委託料) 2,831千円 ・河川水位監視システム構築 (委託料) 1,485千円 5 富山市スマートシティ推進事業 ・スマートシティ推進事業 (委託料、委員報酬、費用弁償) 22,764千円 ・郊外部における身近な拠点づくり社会実験事業 (委託料) 2,000千円  Smart City TOYAMA		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山市センサーネットワークを利活用した民間企業等によるIoT技術実証実験公募累計数 (+41件) ②こどもを見守る地域連携事業実施件数 (+49校) ③富山市オープンデータサイトのデータセット数 (+37件) ④市民や企業と連携したスマートシティ関連事業実施件数 (+16件) 関連URL https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html		

事業概要【オープンイノベーションを見据えた関係人口・交流人口創出事業】

推進当初

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	572,491千円 (85,743千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・公共交通及び消費活動の利便性向上や農林水産業、ガラス産業、教育などの分野における地域課題に関連したプロモーションや体験事業による交流人口の拡大、関係人口の創出 ・官民連携プラットフォームにおける、多様な人材交流による地域人材の育成や創出されるアイデアやソリューションの社会実装によるオープンイノベーションの促進、地域経済の活性化や消費需要拡大に伴う域内サービスの振興		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 関係人口による官民連携プラットフォームの構築 ・「スケッチラボ」の運営（委託料、負担金、修繕料、消耗品費）14,339千円 ・リビングラボ活動支援（委託料）4,000千円 2 関係人口創出のための環境整備 ・グリーンスローモビリティ導入（委託料、修繕料、印刷製本費）5,281千円 ・全国交通系ICカードシステム導入（補助金）5,609千円 ・観光マップのDX化（委託料）6,438千円 3 関係人口創出のためのプロモーション ・農林水産物プロモーション推進（委託料）8,650千円 ・富山ガラスラグジュアリーブランド普及拡大（委託料、補助金、備品購入費）14,214千円 ・教育旅行誘致推進（印刷製本費）578千円 ・稼げる観光商品化支援（補助金）4,500千円 ・業業資料のデジタルアーカイブ化（委託料）2,634千円 ・くすり関連施設整備民間活力導入可能性調査（委託料）19,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①とやまシティラボで共創した地域課題解決案の数（+60件） ②とやまシティラボで実施する課題解決型のプロジェクトの市外からの参加人数（関係人口）（+600人） ③グリーンスローモビリティ及び全国共通交通系ICカード年間利用者数（+235,000人）	関連URL	https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html



事業概要【氷見のブランド再構築を通じた交流・関係人口拡大プロジェクト】

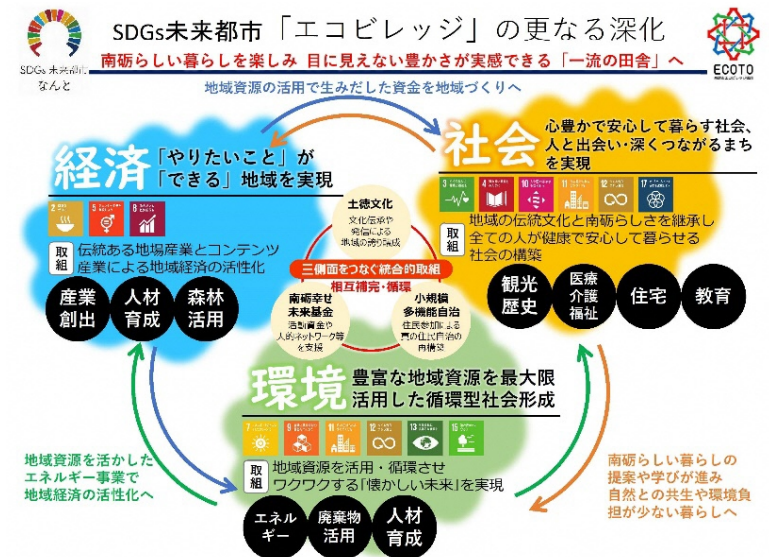
推進当初

申請者	富山県氷見市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	143,368千円 (26,718千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市の豊かな食の魅力を生かし、国内外の様々な地域の人々との間で、継続的な関わりを持つ交流・関係人口の拡大を目指すことにより、更なる観光の活性化及び地域産材の消費拡大等を目的とした仕組みを構築し、地域活力の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○マーケティング戦略実践及び「関係店舗（ツナグ場）」等を活用した関係人口拡大事業 ・業務委託料 10,019千円 ○氷見きときとファンクラブ等構築・運営事業 ・氷見きときとファンクラブ運営、氷見スタディツアー開催等経費 1,863千円 ○豊かな食の魅力を発信する事業 ・氷見ブランドの新たな価値創出に向けたプロモーション経費 2,549千円 ・インバウンド誘客拡大に向けたプロモーション経費 2,552千円 ・着地型の誘客イベントの開催及びプロモーション経費 9,427千円 ○ひみの食ブランディング協議会運営 ・協議会開催及び事業全体のコーディネート等を行うための事務局運営経費 308千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+250,000人) ②観光消費額 (+175百万円) ③氷見きときとファンクラブ登録者数 (+2,300人) ④氷見市プロモーション拠点として設ける「関係店舗（ツナグ場）」で開催する企画（プロモーション）等の訪問人数（当該年度目標値 +2,200人）		
	          		
	関連URL	氷見きときとファンクラブ https://www.city.himi.toyama.jp/gyosei/soshiki/shokoshinko/1/6183.html	

事業概要【SDGs未来都市「一流の田舎」実現に向けた礎プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	635,181千円 (106,821千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・住民の地域に対する誇りや愛着を育て、地域づくりの人材を育成し、地域課題の解決を推進する。 ・小規模多機能自治を機能させ、住民が自発的に地域の課題可決に取り組める環境づくりを行う。 ・地域全体で稼ぐ手法を身に付け、自立していく取り組みを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○文化と教育の連携事業 ・ステークホルダーミーティング実施事業 (委託料) 650千円 ・地域を学ぶ教材作成事業 (委託料) 3,023千円 ・山村留学制度 (委託料) 39,094千円 ○住民自治の再構築事業 ・地域づくり活動推進事業 (補助金) 55,000千円 ・小規模多機能自治コーディネート事業 (委託料) 3,440千円 ○コミュニティファントムによる地域づくり支援事業 ・なんと未来創造塾 (委託料) 705千円 ・官学連携事業 (委託料) 500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域づくり協議会が実践する収益事業の件数 (+17件) ②地域で行った方が効果の高い事業の地域への移行件数 (+4件) ③本事業で実践するセミナーやワークショップ等への参加者数 (+1,150人)		
		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=26590



事業概要【「働きたい」と「住みたい」が調和する町へ ～関係人口の増加を求めて～】

推進当初

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	72,545千円 (14,410千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	移住定住相談や情報発信に携わる専任者を任命し、SNS等を活用した積極的な情報発信により、町への注目を集めるほか、サテライトオフィスの企業誘致を進め、若者の働く場を創出する。また、これらに取り組む中間支援組織を立ち上げ、町に移住したい人と地域・民間企業とを橋渡しする。新たな雇用の創出と空き家等の利活用を進め、町を応援する関係人口の増加によって、町への人や資金の流れをつくりだす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○『「住む。」を実現する住まいづくり』の実現 8,894千円 移住定住コーディネーターと情報発信コーディネーターが中間支援組織と連携し、専門的なノウハウと知識を活用しながら、①町で整備予定の書店併設型コンビニ、②サテライトオフィス「あらた」、③まちなかファームなどを拠点に、様々な人やモノ、情報をつなぐ「サードプレイス」を創る。 ○『「働く。」を実現する生活づくり』の実現 3,254千円 近年増加し続けている空き家・空き店舗や空き公共施設等を活用し、IT・ベンチャー企業のサテライトオフィス等を誘致する。 課題 取り組み 目指す姿 人口減少と若年層の転出による地域経済循環の悪化 2017→2020年の人口減少率は▲5.8% (富山県全体▲3.0%、全国平均▲0.7%) - 毎年約300名の人口減。 2021年度の転出超過による社会減は▲132人 - 進学や就職等を機に地元を離れてしまう若者の流出が大きな課題 - 経済の自立度を示す地域経済循環率が富山県内で2番目に低い 新たな人の流れや関係人口の創出 - 移住定住相談や情報発信に携わる専任者を任命し、SNS等を活用した積極的な情報発信により、町への注目を集める - サテライトオフィスとして、都市圏のIT・ベンチャー企業の誘致を進め、若者の働く場を創出する。 - 上記に取り組む中間支援組織を立ち上げ、町に移住したい人と地域・民間企業とを橋渡しする 自立できる地域をつくり、町の未来を担う人材を育成する - 都市圏での知識や経験を蓄積した若年層のU1Jターンによって、転入者が転出者を超過 - 空き家や空き施設を活用したサテライトオフィスが増えることで、新たな雇用の創出と空き家等の減少 - 町を応援する関係人口の増加によって、町への人や資金の流れをつくりだす		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①各年度の社会増減の差数 (+68人) ②相談窓口を通じた移住者数 (+85人) ③本事業へのふるさと納税者数 (+250人) ④サテライトオフィス等の進出企業数 (+8社)	関連URL	https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakueisakuka/hishoseisakukakari/3/2/9434.html (現在準備中)

事業概要【多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業】

推進当初

申請者	富山県ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,140,532千円（173,634千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	本県の自然、食、住環境、伝統文化等が有する「価値」に共感してもらえるターゲット層に戦略的にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターの獲得、定住も視野に入れた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり ・体験型・滞在型の観光コンテンツの開発 7,960千円 ほか ●北陸新幹線の敦賀開業効果を波及させるための戦略的プロモーションの展開等 ・日本橋とやま館における広報やリピートを促す企画 14,936千円ほか ●「日台観光サミット」の成果を活かした国際観光の推進 ・インバウンド向け観光コンテンツ等の磨き上げ・展開など 4,250千円 ほか ●文化振興拠点の魅力向上 ・高志の国文学館の展示機能の充実、トークイベントや体験型イベント等 7,068千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（宿泊・日帰り）（+3,110円／人回） ②観光入込客数（実数）（+2,685千人） ③日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数（+25,000人） ④県立美術館等の年間来館者数（+520,000人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	147,141千円 (27,838千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地域に根付く伝統、文化の維持、保全、継承を推進する。 ・さらなる南砺ファン獲得のためニューツーリズムを展開する。 ・南砺ファンとのコミュニケーションを通じた南砺ブランドの発信及び誘客推進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○伝統的産業人材育成支援事業 ・伝統的工芸品産業再生支援事業（補助金）1,000千円 ・帰農塾、就農マッチングツアー（委託料）1,150千円 ○南砺市を深く知ってもらうためのニューツーリズムの展開 ・ニューツーリズム推進事業（委託料）2,200千円 ・VR360°バーチャルツアー開催（委託料）2,800千円 ・南砺ファン受入体制整備事業（委託料）2,625千円 ○南砺ブランドの発信及び誘客推進 ・観光プロモーション事業（委託料）9,340千円 ・ブランド商品開発、ECサイト運営(委託料)5,330千円 ・ブランド、観光商品開発支援事業(補助金・負担金)2,050千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①南砺ファンの総数（+1,350人） ②ふるさと寄附金収入（+22,500千円） ③新規伝統的工芸品職人数（+16人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=26590

事業概要【Startup connect project】

推進当初

申請者	富山県ほか 2 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	924,746千円 (218,920千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	誰もが起業にチャレンジできる環境づくりが重要であり、スタートアップの核となる突き抜けた人材が県内で自由にのびのび活躍しやすくする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●スタートアップ支援事業 ・スタートアップエコシステムの形成に向けたセミナーの開催等 委託料、負担金等 61,000千円 ほか ●まちづくり支援事業 ・起業・新分野展開に必要な経費への助成など 補助金10,000千円 ほか ●事業承継等によるイノベーション事業 ・相談窓口の設置など 補助金 10,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学発ベンチャーの起業件数 (+ 13件) ②県創業支援センター利用者の創業件数(+ 24件)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、入善町の広域連携事業

事業概要【ウェルビーイングによる人口増加プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	873,074千円（197,282千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県民の結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して子どもを生み育てられる環境、仕事と家庭生活との両立が実現できる環境、すべての子どもが心身ともに健やかに成長し、次代の社会を担う者として自立できる環境を整備。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●多様性や寛容性のある環境整備 ・県立大学が実施する県内就職定着促進事業に対する支援 補助金 10,000千円 ほか ●子育てしやすい環境整備 ・専門講師の派遣、伴走支援 委託料、補助金等 10,720千円ほか ●ライフステージ、ニーズに応じた移住、定着支援 ・移住の相談会、研修会、交流会 補助金等 10,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住みよさランキングの50位以内の市町村数（+9市） ②男性の育児休業取得率（+8.9%） ③県・市町村等の相談窓口を通じた移住者数（+190人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、黒部市、上市町、入善町の広域連携事業

事業概要【開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県ほか15自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	625,294千円（140,003千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	再生可能エネルギーの地産地消や環境・エネルギー産業の育成等により地域活性化や産業活性化、防災力強化も併せて実現。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●ワンチームとやま脱炭素プロジェクト ・アルミのリサイクル（グリーン化）に関する研究開発補助 補助金 20,000千円 ほか ●持続可能な社会づくり ・SDG s 宣言を行う企業の掘り起こし及びSDG s 宣言企業の連携促進企業と団体のマッチング等 補助金、委託料等 10,100千円ほか ●水資源の保全、活用 ・海洋教室やイベントへの補助 7,300千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①エネルギー消費量の2013年度比の削減率（+7.8%） ②県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率（+86.5%） ③一般廃棄物循環利用率（+2%） ④北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数（+150人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【Toyama Digital Transformation Project】

推進当初

申請者	富山県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,969,288千円 (407,101千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「県民目線」「スピード感」「現場主義」の3つの視点で、デジタルによる変革（DX）及びDXによる働き方改革を強力に推進していくことにより、県民の「真の幸せ（ウェルビーイング）」を追求する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●デジタル基盤づくり ・データ連携基盤の拡大、利活用促進 委託料等 64,446千円 ほか ●県内企業等のデジタル推進 ・バックオフィス業務のデジタル化支援、研修会・個別相談会 2,500千円 ほか ●デジタル人材供給拠点づくり - 県立大学にDX人材の育成や学生の確保、遠隔事業の推進など 委託料 72,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①データ利活用による地域課題解決の取り組み件数（+56件） ②データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数（+300団体） ③県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数（+150人） ④県立大学におけるDXに関する相談受付件数（+25件）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、黒部市、射水市、入善町、滑川市、高岡市、魚津市、小矢部市の広域連携事業

事業概要【ポストコロナの海外展開事業】

推進当初

申請者	富山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	776,841千円 (175,450千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	コロナ禍により落ち込んだ海外輸出、インバウンドといった産業、観光分野においてポストコロナの反転攻勢施策を進めるにあたり、外国人材の技術や才能を活かし、コロナ前の経済に戻す努力ではなく、コロナ前を超える経済状況を目指し、日本人にも外国人にも、働きやすく、暮らしやすい地域づくりを進め、世界に選ばれる「元気とやま」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●外国人材の活躍促進 ・県内企業への高度人材の受入・受入学生の県内定着促進 委託料、事務費 17,606千円ほか ●ポストコロナの反転攻勢（海外輸出） ・アドバイザーを活用した企業へのPR 補助金・委託料24,000千円ほか ●ポストコロナの反転攻勢（国際観光） - デジタルデータ等を活用したSNSによる情報発信 委託料、事務費 11,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山県の貿易額（輸出入額合計）（+1,781億円） ②外国人延べ宿泊者数(+1,051,000人） ③富山県内の「専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人労働者数」（+919人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

申請者	富山県魚津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,012千円（15,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	○魚津市ならではの「上質な体験プログラムや旅行商品の企画開発を行うとともに、快適で満足度の高い受入環境の整備に努めることで、繰り返し訪れてもらえる“観光地として選ばれる”地域づくりを進めていく。 ○魚津市が一体となった戦略的な観光推進体制（＝DMO）を構築することで、持続可能な観光地経営を図り、観光振興による地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○魚津市版地域DMO構築に向けた取り組み ・観光推進体制強化に向けた検討・協議等（委託料）1,500千円 ・専門家派遣費用（委託料）2,100千円 ○旅行者に「感動」を与える魅力的な商品・サービスづくり ・体験プログラムの造成（委託料）7,000千円 ・販売促進プロモーション（委託料）4,000千円 ・北陸新幹線敦賀延伸に伴うプロモーション（委託料）1,000千円	 観光関連事業者による ワークショップの様子  地域資源を活用した 体験プログラムの造成	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋39億円） ②延べ宿泊者数（＋130千人） ③体験プログラム参加者数（＋2,000人） ④レンタサイクル利用台数（＋982台）	関連URL	https://www.city.uozu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=8497&topkb

事業概要 【～住み慣れた場所で生涯安心して暮らせるまちづくり ～散居村型デマンドタクシー運行モデル事業】

推進当初

申請者	富山県砺波市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	151,287千円 (61,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・公共交通の効率化 ・高齢者の生きがい創出 ・中心市街地の活性化 ・散居景観の保全		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●運行エリア市内全域化に向けた実証運行にかかる委託費等 59,570千円 ●民間活力の活用と地域経済活性化に向けたHP改修・印刷製本費 320千円 ●医療・福祉との連携強化にかかるおでかけニュース発行費・イベント開催費・クーポン配信準備費用 1,610千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①コミュニティバス及びデマンドタクシーの年間利用者数 (+13,000人) ②コミュニティバス収支率 (+10%) ③デマンドタクシー登録者数 (+880人) ④デマンドタクシー停留所数 (+50箇所)	関連URL	www.city.tonami.lg.jp/info/35269p/ www.choisoko.jp/tonami/



事業概要【若者から選ばれる「寛容なまち南砺」創生プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	270,060千円 (63,204千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制を構築する。 ・若者どうしの交流による新たな価値創造を推進する。 ・寛容でチャレンジ精神旺盛なまちを創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制の構築 ・移住コンシェルジュ配置 (負担金・事務費) 2,186千円 ・移住コーディネート事業 (委託料・事務費) 10,708千円 ・就活・雇用支援事業 (委託料) 7,329千円 ○若者どうしの交流による新たな価値創造 ・婚活支援事業 (委託料・事務費) 9,977千円 ・若者ネットワーク構築事業 (委託料) 4,135千円 ○寛容でチャレンジ精神あふれるまち創造 ・働き方改革、子どもの権利普及事業 (委託料・事務費) 6,027千円 ・若者、女性から選ばれる企業への変革応援事業 (補助金) 8,750千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者 (20～39歳) の純移動率の改善 (+4.6%) ②市内企業に就職した新卒学生数 (+46人) ③寛容な社会が形成されていると感じる市民 (20～39歳) の割合 (+18.5%)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=26590



誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ

事業概要【まちの中心「地鉄立山線五百石駅周辺」便利な街へ再設計事業】

推進当初

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	76,980千円 (24,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	五百石駅周辺の商業展開の基盤を整え、五百石駅周辺での起業支援や交流の促進、五百石駅から富山地方鉄道を利用して立山黒部アルペンルート等へ向かう観光者の増加等に取り組むことにより、地域内外の経済循環が創出され、五百石駅周辺の営みが増し、酒類を提供できる飲食店や起業店舗等の従業員といった雇用の創出が生まれ、活気にあふれた町を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 五百石駅周辺の「街」再設計事業 まちなかでの新規開業出店者への起業時の支援や、町と包括連携協定を締結している各大学生の活動支援、「宿泊施設等誘致可能性調査」の結果をもとに、今後も町中心部に相応しい機能を維持するよう、町民総参加のもとまちなかの再設計を行う。 ○ E-BIKEステーション運営・管理委託料 ○ 五百石駅発着ツアー及び歓迎イベント開催委託料 五百石駅を起点とし、E-BIKEで田園・里山エリアの観光地や立山駅へ行く観光商品を企画販売する。 また、地鉄立山線の活性化に向け、地鉄立山線の車両の中吊りを活用した「動く美術館」事業や、町民が乗車客におもてなしの意味を込めて手を振る「多手山（たてやま）プロジェクト」を実施する。  富山地方鉄道五百石駅・元気交流ステーション「みらいぶ」 E-BIKEで 周遊 平野部の観光資源ヘルジアンウッド		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①五百石駅前通行量（+30人） ②五百石駅前でE-BIKEレンタル件数（+30件） ③五百石駅乗降者数（1日平均）（+30人）		関連URL https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/hishoseisakukakari/3/2/9434.html （現在準備中）

事業概要【産官学連携によるオープンイノベーション創出プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	759,158千円 (173,106千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	産学官連携により「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの創出を目指すほか、次世代自動車、航空機、ロボット等の成長分野の更なる振興を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 成長分野におけるオープンイノベーション ・研究開発および人材育成に対する支援 12,000千円 ほか ● 医薬品分野におけるオープンイノベーションと専門人材育成の推進 ・県内大学の研究開発に対する補助金 58,000千円 ・県薬事総合開発センターに導入したプロテオーム解析 4,106千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①従業員1人あたりの付加価値額(ものづくり産業) (+127.5万円) ②県内産学共同研究数(成長分野対象) (+24件) ③県内大学における特許等知的財産権の出願件数(医薬・バイオ分野) (+8件) ④県内大学から県内製薬企業への就職者数 (+25人)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	29,152千円（10,360千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・北陸街道の宿場町として栄えた旧町部において歴史的文化財を活用したイベント実施、まちづくりの機運醸成と空き家の利活用を目的としたワークショップ等の開催や外部人材を巻き込みことで魅力的なまちづくりを行い地域の交流人材や関係人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○歴史的文化財を活用したイベントの開催 ・出演者謝礼 300千円 ・会場使用料 5千円 ・パンフレット作成等 15千円 ○「いまはまだない仕事にやがてつく人たちの教室」講義及び、「（仮称）空き家を活用した事業提案ワークショップ」の開催 ・委託 2,000千円 ○地域に変化を生み出す外部人材（なめりかわアンバサダー）の確保 ・空き家賃借料等 2,988千円 ・空き家使用に係る光熱水費等 211千円 ・なめりかわアンバサダー旅費 1,241千円 ○利活用促進のための国登録有形文化財の修繕工事に対する補助 ・補助金 3,600千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①イベント等参加者（+155人） ②空き家での店舗開業件数（+ 3 件） ③イベント等で活用した国登録有形文化財の数（+ 18件） ④なめりかわアンバサダーの認定者数（+ 12人）		関連URL https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/4/1/8506.html

事業概要【地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業】

推進当初

申請者	富山県ほか13自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	521,102千円（179,034千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県民のウェルビーイングを向上させる最適な交通サービスを実現するために、地域の「投資」と「参画」を得るとともに、本県が有する鉄軌道ネットワークという「財産」をまちづくりに活かし、地域による駅を中心とした交通まちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●まちづくりと連携した駅の機能強化に対する「投資」事業 ・観光案内所の機能向上等 負担金17,490千円 ほか ●鉄軌道サービスのレベル向上と地域内のモビリティサービスに対する「投資」事業 ・鉄軌道サービスのダイヤ平準化の取組み補助 33,268千円 ほか ●地域交通ネットワーク内の移動・交流の創出に対する「投資」事業 ・システム開発費やプロモーション費の支援 補助金10,000千円ほか ●地域の活力・魅力向上のための「参画」促進事業 ・新たな移動サービスを立上げる取組を支援 補助金30,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲30,755人） ②中心市街地等の歩行者通行量（富山市・高岡市の中心市街地及び駅周辺の歩行者通行量）（+342人） ③県民1人当たりの地域交通利用回数（+5.1回） ④県内の自動車保有台数（貨物・特殊車両除く）（▲53,580台）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【「寿司」を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業】

推進当初

申請者	富山県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	862,950千円 (278,040千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	多くの方に富山県を認知し、関心を持ってもらえる状態を作り出す必要があるため、寿司をキーワードに戦略的に富山県の魅力を伝え、富山県の価値を高めるための地域ブランディングを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●ブランド確立に向けた展開 ・寿司をはじめとした食の魅力を発信するイベント開催、WEB等を活用した情報発信の取組み 委託料10,000千円ほか ●プロモーション等による消費喚起に係る取組み ・海外旅行エージェント向けの寿司をはじめとした食の魅力、伝統工芸やワークショップ等の観光プロモーション 委託料 16,000千円 ほか ●ブランド基盤を支える取組み ・若手寿司職人育成イベントに関する取組み 委託料1,924千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額 (+184億円) ②担い手育成関係事業に参画した人数(+47人) ③磯根資源養殖生産量 (+2.1トン) ④主要都市圏で「寿司と言えばイメージする都道府県」で「富山県」を第一想起する方の割合 (+31.1%)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、射水市、氷見市、黒部市の広域連携事業

事業概要【市民との協働による地域課題の解決と付加価値の創造による持続可能なまちづくり事業】

推進当初

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	206,044千円(44,647千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	少子・超高齢化による人口減少が進行する中で、市民が積極的に地域活動に参加する機運を高め、様々な活動において行政・市民・企業等が協働し地域の抱える課題の共有や解決に取り組むことで、地域住民同士の連帯感の醸成、コミュニティの活性化につなげる。また、様々な取組を通じて付加価値を創造し、現在の市民だけでなく、次世代の市民となりうる人にも積極的に「選ばれるまち」となることで、持続可能なまちづくりを実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 「富山市に住み続ける・帰ってくる・貢献する」意識の醸成 (1) 「それって富山市！？」プロモーション事業 (委託料) 8,300千円 (2) 移住受入促進事業(委託料) 2,750千円 2 持続可能な付加価値創造事業 (1) 富山市版オリジナルSDGs学習ボードゲームの開発 (委託料) 5,000千円 (2) SDGs先進中小企業ミートアップツアー (委託料) 4,000千円 3 地域の活性化に向けた取組 (1) 「教育×交通」共創モデル創出事業(委託料) 10,000千円 (2) 学校跡地等活用事業 (委員報酬、報償費、費用弁償、印刷製本費、手数料、委託料) 9,597千円 (3) 「TOYAMAまちなか音楽祭」事業(委託料) 5,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山市の世帯数(+3,450世帯) ②富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数(+46,729人) ③県内大学卒業生の県内就職率(+4%)	関連URL	https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html

事業概要【若者・女性のキャリア発信及び起業・開業・就業支援プロジェクト】

推進当初

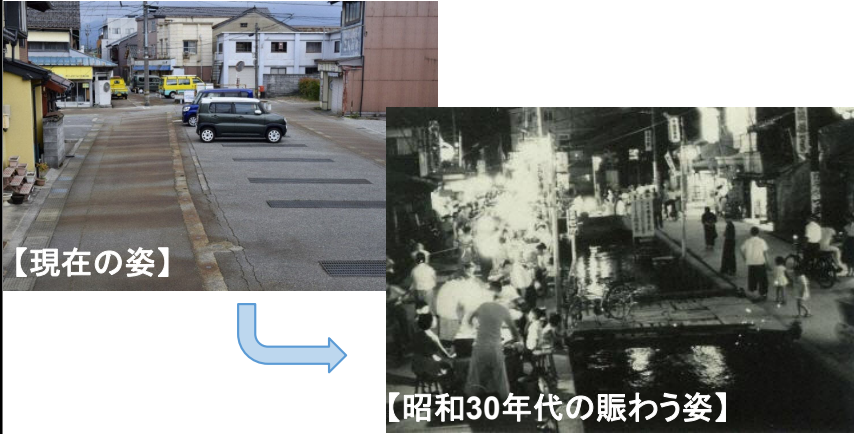
申請者	富山県高岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	86,970千円 (28,790千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・やりがいのある仕事が少ないというイメージを変えるため、多様な職種があることや本市でキャリアを積んでいくことができることを発信し、学生の市内定着やUターンを促進する。 ・地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスの起業など、地方での新たなしごとを創出する。 ・人手不足が課題の分野での就業を支援し、人材確保を図るとともに地方へ人の流れを創出する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学生を対象として、市内企業の仕事を体験するインターンシップの機会や女性先輩社員のキャリアについて話を聞く機会を創出 ・インターンシップ運営、動画の制作（広告費）600千円（委託料）8,690千円（うち対象外経費5,000千円） ○学生とともに課題解決に取り組む企業への支援 ・地域課題解決に取り組む企業への支援（委託料）500千円（消耗品費）160千円（郵便料）40千円 ○新たなビジネスの創出を模索する人・団体と、地域課題をつなぐマッチングや人材育成セミナーを実施 ・マッチング、セミナーの実施（委託料）8,500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口のUIターン数（+300人） ②創業件数（累計）（+360件） ③県外大学等卒業時に就職した者に占める県内Uターン就職者の割合（+2.6%） ④転入・転出の均衡（+362人）	関連URL	https://www.city.takaoka.toyama.jp/gyosei/gyoseijoho/seisaku_keikaku/13/6870.html

事業概要【人と水がめぐるまち。魚津市活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県魚津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	13,333千円 (4,298千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・担い手として、外国人を含めて市外からのマンパワーを活用し、地域活動・地域産業の活性化を図る。 ・まちの活性化に寄与する人材の発掘、発掘した人材を育成・活用する体制を構築する。 ・域外人材と地域住民との交流により関係を深化させ、地域内での内発的発展に繋げる。 ・魚津市に関心・愛着を持ってもらい、「第二のふるさと」として将来的な二拠点居住・移住に繋げる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<u>〇たてもんFAN CLUB</u> 魚津のタテモン行事を国内外に活動をPRし、通年でタテモンに携わるサポーターを増やす。たてもんFAN CLUB設立等（委託料）1,000千円 <u>〇博物館ワーケーション</u> 夏休み期間に魚津水族博物館・埋没林博物館を活用し、子どもは自由研究、親はコワーキング等でテレワークを行い、地域の親子との交流を図る。企画・運営（委託料等）650千円 <u>〇社会課題解決型実証実験「ローカルスタートアップ育成プログラム」</u> 本市に関心・興味を持つ都市部在住者が対象。地域課題を解決する人材を育成するプログラム企画・運営（委託料）2,000千円 <u>〇関係人口人材育成</u> 若者を中心とする地域主体の交流事業（委託料）648千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+90人） ②市の関係人口事業に参加するリピート数（+89人） ③本事業の域外参加者を受入する人材・事業者数（+30者） ④定住応援室が運営するSNSのフォロワー数及びHPアクセス数（+32,068人）	関連URL	https://www.city.uzo.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=8497&topkb



申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,000千円 (17,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	旧町部エリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査、事業推進組織による一体的なプロジェクトマネジメントを実施し、賑わいと利便性の向上を図り、転入者等のまちなか居住の誘導を実現する。また、旧町部エリアと他観光拠点をAR・VRでデジタル連携し接続性の向上と周遊化を図ることで、域内滞在時間と消費額を向上させ、更なるまちの魅力向上と投資を呼び込み、より住みたいまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○旧町部エリアの中心地におけるエリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査 ・調査業務（委託料）11,600千円 ・エリアビジョン策定（委託料）5,400千円 ※同一の委託業務として発注予定	 【現在の姿】 【昭和30年代の賑わう姿】	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+170人） ②旧町部エリアに新たに入居した空き家、空き店舗の数（+35件） ③事業を通じて来客数が増加した店舗の数（+22件） ④情報コンテンツの利用回数（+177,500人）	関連URL	https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/4/1/8506.html

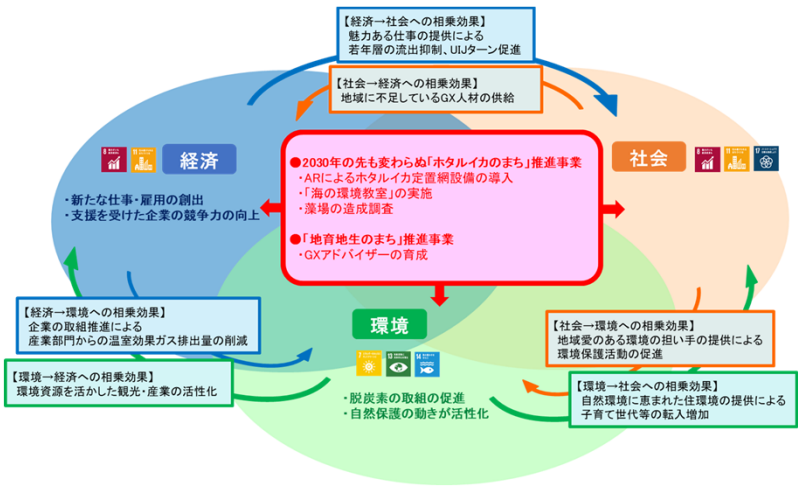
事業概要【デジタル人材育成により実現する滑川イノベーション事業】

推進当初

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	126,970千円 (26,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	市内の中小企業・個人事業主に対してGX・DXの伴走支援を行うことで、選ばれ続ける元気な企業づくりを推進するとともに、伴走支援を行うアドバイザーを、地域の人材が担えるように人材育成を行いデジタル人材の地産地消による地域経済の好循環を実現する。併せて女性の活躍支援や地域のデジタルリテラシーの向上を目的とする人材育成等を行い、市全体のDXや地域コミュニティの活性化等総合的な地方創生を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○GX・DXの啓発（セミナー開催・事例集作成等）や伴走支援を行うイノベーションセンターの運営（19,151千円） ○GX・DXアドバイザーの育成（1,561千円） ○地域コミュニティのデジタルリテラシー向上を担うデジタルアンバサダーの育成（1,200千円） ○デジタル機器を持たない・使えない方向けのリモートサービス検討に係る実態・ニーズ調査、事業計画費用（4,388千円） 滑川イノベーション事業（概要） 人を育て、GD&Xの必要性を市民・企業に気づかせ、サービス提供を行う		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+47人） ②アドバイザーの支援を受けた市内中小企業の営業利益増加率（平均）（+5%） ③事業をきっかけに新たにデジタル機器・サービスを利用した高齢者等の人数（+710人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/4/1/8506.html

事業概要【「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	29,012千円 (11,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備の導入や藻場造成に関する調査を大学機関等と連携して実施することにより、子どもたちを中心に郷土愛を醸成し、ホタルイカが棲息する豊かな海を守る取り組みにつなげる。また、地域において不足しているGX人材を育成し、地域で人材を共有する仕組みを構築することで、地域全体でのカーボンニュートラルの取組を推進するとともに、地域に新たな雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費	○2030年の先も変わらぬ「ホタルイカのまち」推進事業 ・AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備のコンテンツ制作 (委託料) 8,000千円 ・AR体験に伴うタブレット等のハード整備 (備品購入費) 2,000千円 ○新たな仕事や人材が生まれ育つ、「地育地生のまち」推進事業 ・GXアドバイザー育成 (委託料) 1,500千円 ※経費内訳はR6年度事業費 		
KPI	①地域の人口の増加数 (+10人) ②進学・就職期 (15～24歳) の若者の社会動態の増加数 (+24人) ③ほたるいかミュージアム入館者の増加数 (+6,000人) ④GXアドバイザーの派遣を受けた企業数 (+50件) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	調整中

申請者	富山県射水市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	466,215千円 (164,291千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	空き家や空き店舗を地域資源として捉えて、それらを活用して新しい暮らしや仕事を始めたい人がチャレンジしやすい環境をつくることで、日常的に人が集い交流が生まれるエリアを生み出す。さらにエリアの魅力を広く発信して地域外からの関心を集め、合わせてエリアへのアクセスの利便性を向上させる2次交通を確保してエリア内外の人の流れを創出することで、持続可能な好循環が生まれる地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業の方向性 1 新しい暮らし方への挑戦 (活動・移住・仕事)を応援する 2 地域外の人々の関心を集める風土をつくる 3 新たな人流を生み出す地域交通を確保する		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	●新しい暮らし方への挑戦 (活動・移住・仕事) 応援事業 ・空き店舗と創業希望者とのマッチング事業 29,000千円 ・空き店舗調査事業 (委託料) 5,000千円 ・空き物件チャレンジショップ応援事業 (補助金) 16,000千円 ・移住・空き家トータルサポート (委託料) 23,191千円 ・ウォーカブルなまちづくり推進事業 (補助金) 6,000千円 ●エリア外の人々の関心を集める風土づくり事業 ・魅力的なまちなみ形成事業 (委託料) 5,000千円 ●新たな人流を生み出す地域交通事業 ・電動キックボード等の新しい移動手段の実証運行 (委託料) 3,000千円	①新湊及び小杉地区の旧市街地エリアの人口 (▲432人) ②空き物件チャレンジショップ応援事業補助金交付件数 (+10件) ③あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数 (1日あたり) (+180人) ④内川エリア (川の駅新湊) 年間来訪者数 (2,400人)	関連URL https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=17455

事業概要【SDGs de 移住・関係人口創出プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県上市町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	29,020千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・子どもを産み育てられる環境をつくり移住促進を進め、若い世代の流出に歯止めをかけ人口増加を図る ・出会いの場の創出や人との交流をつくる魅力あるイベントの場の提供や情報発信を進め、出生数の増加に努め、少子化対策を図る ・町民が自分の町に愛着を持ち自信を持つよう意識改革を促し、情報発信や地域での連携を進め、認知度を高めるための戦略的PRを図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住者に選ばれる町、社会増を目指す ・どこにも負けない移住・子育て情報発信事業 セミナー開催、記事や動画作成経費 (委託料2,000千円) ・関係人口拡大に向けた、移住×人×特産品×ICTを掛け合わせた情報発信及び首都圏で直に魅力を伝える交流会 情報発信、交流イベント経費 (委託料3,500千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+31人) ②人口の社会増減 (+75人) ③合計特殊出生率 (+0.39)	関連URL	https://www.town.kamiichi.toyama.jp/



移住者で人口社会増！



少子化対策で自然増！



積極的な情報発信！

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,680千円 (11,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域商社に商品企画、ブランディング、マーケティングを扱う新部門を設立し、雇用した担当社員の創造力と行動力で既存商品をブラッシュアップし新たな人気商品を生み出す仕掛け人となってもら。また、活力と魅力ある職場を作り、働きたいと思わせる企業に地域商社が育ち、地域の力が立ち上げた独り立ちの覚束ない資源を牽引する存在となっていくことが目的である。 ・地域商社の新部門によって磨き上げられた特産品や、大学や企業等と共同で開発した新商品等をまちなかファームで販売し、(仮称)観光物産コンダクターの手により消費地（観光地）である立山黒部アルペンルートにも展開され、経済循環の展開にもつなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○域内既存商品の域外販路拡大事業に係る経費 ・マーケティング調査、ブランディング検討、地域通貨「たてぽ」システム改修など（委託料）7,000千円 ○域内産業資源の新たな特産品（商品）開発事業に係る経費 ・町が連携協定を締結する大学や企業等との商品開発など（委託料）4,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育ローン等返済応援補助金を利用して立山町にUターン就職した者の数（+15人） ②地域商社で取り扱った地域産品の売上額（+3,100千円） ③地域通貨「たてぽ」総利用額（+11,000千円）	関連URL	https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisaku/hishoseisakukakari/3/2/9434.html （現在準備中）



地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【大阪・関西万博を契機とした関係人口創出プロジェクト】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○		○

推進補正

申請者	富山県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	54,500千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	人材分野
目的（効果）	大阪・関西万博を契機として、関係人口の裾野を広げるため、効果的な情報発信計画を策定し、関係人口の拡大に取り組むとともに、実際に関係人口と地域の人とが連携して取り組む活動を作り出すことにより、地域との具体的な交流を通じた新たな価値や産業の創出につなげる。		
事業概要・主な経費	●万博開催を見据えた戦略的な情報発信計画の策定と共創の場創出に対する支援 ・戦略的な情報発信計画の作成 委託料 19,000千円 ほか ●持続可能な魅力ある田園地域の創出 ・専門家によるサポート・研修 委託料 12,500千円 ほか		
KPI	①大阪・関西万博を契機とした関係人口の創出数（+16,500人） ②共創の場の創出数（+51件） ③共創の場への県内からの参加者数（+4,500人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【新川こども施設整備・運営事業】

拠点当初

※PFI活用

申請者	富山県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,831,309千円 (37,470千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	こどもたちが天候に関わらず思いきり遊ぶことのできる屋内遊戯施設「新川こども施設」を整備し、こどもたちの非認知能力や運動能力の向上を図るとともに、子育て世代の満足度を高め、こどもたちの郷土への誇りや愛着を醸成することで少子化の抑制と県内への定住促進につなげる。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	整備にあたっては、民間の創意工夫を最大限引き出すため、施設の設計・施工から維持管理・運営までを事業者が一体的に実施するPFI-BTO方式を導入して進めることとしている。 本事業は、ハード面ではこどもたちが天候に関わらずダイナミックに遊ぶことのできる大型遊具や、家ではできない体験を提供するデジタルコンテンツを使った遊びを提供するほか、ソフト面では地域の企業等と連携した体験プログラムを開催するなど、ハード・ソフト両面で本県の子育て環境の魅力向上に資するオリジナリティにあふれた施設を整備する事業である。 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 【建築基本設計】 建築基本設計 31,200千円 ○効果促進事業 (ハード事業) の内容 【遊具設計業務】 遊具基本設計 6,270千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①本施設の周辺市町村の人口 (▲13,635人) ②本施設の周辺市町村の出生数 (0人) ③本施設の利用者数 (+230,000人) ④本施設でイベント・プログラムの開催に協力いただける地元企業や地域団体等の数 (+48団体)		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.toyama.jp/140401/kyurashi/kyouiku/kosodate/shienjigyouniikawakodomo/20220311.html (効果検証) https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html	



事業概要【富山市総合体育館Rコンセッション事業】

拠点当初

※PFI活用

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,000,000千円（17,300千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	既存施設の魅力を最大限生かすため、プロバスケットボールリーグ「Bリーグ・プレミア」基準に対応したアリーナ改修をPFI事業の「R方式」、施設運営を「コンセッション方式」とする「Rコンセッション事業」とし、民間活力やノウハウを活用した自由度の高い事業を展開することで、プロバスケットボールチームとの連携による興行をはじめ、コンサート等の多様で良質な興行を誘致し、富山駅北地区全体の回遊性の向上や、関係人口、交流人口の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	市総合体育館における、Bプレミアで求められている基準の充足や施設の魅力向上を図るための施設改修等をPFI事業の「R方式」、施設運営を「コンセッション方式」とする「Rコンセッション事業」とし、民間活力やノウハウを活用した自由度の高い事業を展開し多様な収益源を確保することで「稼ぐ力」を高めるとともに、デジタル技術を活用した効率的な維持管理によって施設の持続可能性を高める。 具体的には、AIロボット掃除機に加え、ICTを活用した施設管理システムを導入し、スケジュールや設備台帳、メンテナンス計画、電力料等の情報をデジタルで一元管理することで、点検や修繕に係る時間とコストの削減を図るだけでなく、これまで紙媒体等で提出していた施設管理情報も市側でリアルタイムで確認可能となり、事業者と市の双方にとって効率的な維持管理が可能となる。 また、Bリーグと連携し、ARやマルチアングル等を活用した臨場感溢れる映像コンテンツの発信に取り組む。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】基本設計費 17,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①富山市の世帯数（+8,750世帯） ②Bリーグ興行における1試合平均入場者数（+420人） ③市総合体育館及び市3×3バスケットボールコートにおける興行開催回数（Bリーグ公式戦除く）（+5回） ④富山駅北側の平均歩行者通行量（+650人）	関連URL	https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html



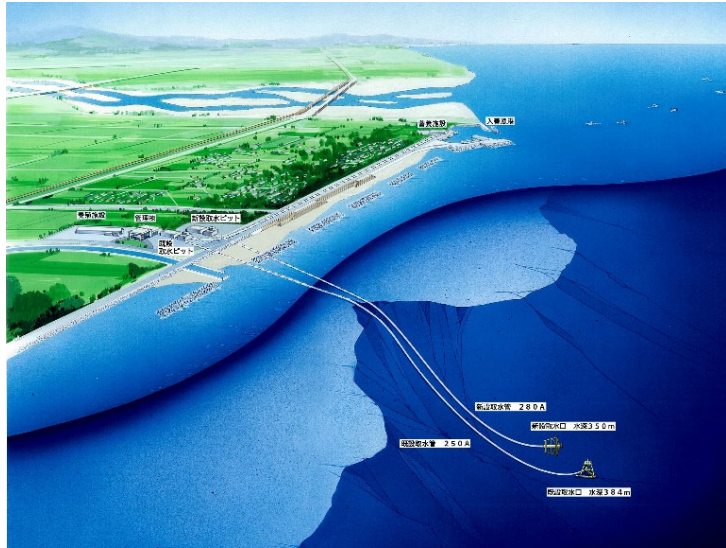
事業概要【射水市道の駅新湊等整備運営事業】

拠点当初

申請者	富山県射水市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	558,200千円（50,820千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	新湊漁港で水揚げされる海産物の魅力を効果的に情報発信できず、観光消費に繋がっていないなどの課題に対応するため、躯体の劣化が進んでいた道の駅新湊の大規模改修を行うとともに、施設の設置意義が低下していた新湊農村環境改善センターを道の駅新湊別館としてリニューアルし、「射水ブランド」の高付加価値化や観光誘客等を推進する。		
整備内容・ 利活用方策	リニューアル後の道の駅では、農協や漁協などと連携し、本市の魅力ある食材を活用した独自商品の開発や地元産品の販売促進、地域資源のブランディングに取り組む。販売促進に当たっては、現地決済型ふるさと納税システムの構築やECサイトの設置、キャッシュレス決済やITを活用した多言語対応といった、デジタル技術を活用した手法の導入を進めていく。また、タッチパネル型のデジタルサイネージの導入により、観光地情報の多言語化、選択されたトピックスを参考に推奨観光モデルコース等を表示するほか、スマートフォンのGPSのビッグデータを活用し、今まで計測できなかった層も含めた精緻な分析をすることで、観光地への観光客誘導にも取り組み、経済波及効果を地域へ波及させ、市内全体での「稼げる観光」の実現を目指す。 ○道の駅新湊及び旧新湊農村環境改善センター大規模改修 【建築物本体工事】 建築工事費 50,000千円、工事監理委託費820千円		
KPI	①地域における観光消費額（+256,410千円） ②道の駅新湊売上総額（+154,269千円） ③スマートフォンGPSデータに基づく道の駅周辺エリア来訪者数 （+127,625人） ④6次産業化推進事業件数（累計）（+4件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=17455 （効果検証） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=4714640

事業概要【海洋深層水と地下水を活かした入善版ローカルイノベーションプロジェクト】

拠点当初

申請者	富山県入善町	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,481,500千円（0千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	町の地域資源である海洋深層水の取水量を増やすため、深層水取水施設や設備を整備し、企業による積極的な事業展開を促進することで、水産業をはじめとした関連産業の雇用の増加を実現し、地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	海洋深層水や地下水を活用している民間企業が多く立地し、積極的な事業展開や事業化に向けた取り組みを進めているが、今後の事業展望を踏まえると現在の海洋深層水の取水量では不足している。深層水の取水量を増やすため、新たに深層水取水施設や取水管を含めた設備などを整備し、民間企業へ分水することで、町の水産業をはじめ観光業、商業の振興、雇用の増を目指す。 ○整備内容 精査中		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①海洋深層水を活用する企業の新規雇用者数（+73人） ②海洋深層水を活用する企業の設備投資額 （+13,400,000千円） ③海洋深層水を活用する企業の年間売上高 （+4,240,000千円）	関連URL	https://www.town.nyuzen.toyama.jp/gyosei/chosei/shisaku_keikaku/5/5560.html

申請者	富山県入善町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,377,500千円 (111,690千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	町の地域資源である海洋深層水の取水量を増やすため、深層水取水施設や設備を整備し、企業による積極的な事業展開を促進することで、水産業をはじめとした関連産業の雇用の増加を実現し、地域経済の活性化を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	海洋深層水や地下水を活用している民間企業が多く立地し、積極的な事業展開や事業化に向けた取り組みを進めているが、現在の海洋深層水の取水量では不足している。取水量を増やすため、新たに取水施設や取水管を含めた設備などを整備し、民間企業へ分水することで、町の水産業をはじめ観光業、商業の振興、雇用の増を目指す。 海洋深層水の活用にあたっては、取水量や水温、塩分濃度の制御、餌の量など魚の生育管理、魚の成長曲線に応じた調整にデジタル技術を活用することで、蓄積データに基づいた細やかな対応が可能となり、生産効率向上、人員省力化にも資する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費(掘削工含む) 83,700千円 【建築物と不可分な設備工事】 ポンプ設備工事費 12,600千円 ○施設整備等（設備整備・用地造成）の内容 深層水取水設備(取水管)整備工事費 管材料・製作費 0千円、推進工事 15,390千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①地域における新規雇用者数（+60人） ②海洋深層水を活用する企業の設備投資額（+130億円） ③海洋深層水を活用する企業の年間売上高（+28億円） ④町内観光入込数（+120,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.town.nyuzen.toyama.jp/gyosei/chosei/shisaku_keikaku/2592.html

